



ICHIKAWA H.S

NEWSLETTER

AGENCYの育成を
目指す緑学年通信

VOL.21
13 NOV, 2025

～各科の主要行事～

今月に入り、普通科は総合的な探究の時間におけるかわさきよいまちづくりプロジェクトの中間発表会、福祉科は初めてとなる施設実習が4日間行われました。この2つは学校の教育活動の核に据えられている重要な行事です。

普通科は、全12ゼミによる発表。川崎市の運動習慣の向上を目指す荒井ゼミが1位、フラワーロスをなくす取り組みをする出野ゼミ、エスカレーターの右側歩行をなくし混雑緩和を目指す小松ゼミが同率2位となりました。計画段階のゼミが多かったと思いますが、海外研修にいくまでに実績が残せると、順位は大きく変わってくると思います。会の終わりに生徒を代表してEルーム高田さんは次のように話してくれました。「高校に入ってから研究の素地を身に付け、中3LEADでできなかったことをさまざまな形でやろうとするゼミがたくさん見受けられました。自分たち高校生にしかできないことがたくさんあると思います。みんなで引き続きチャレンジしていきましょう」。とてもステキな挨拶でした。みなさん立派でしたよ。

福祉科は、3年間で7回行う施設実習の1回目です。この実習を目標にこれまでたくさんの座学を受け、福祉に関する知識・技能、思考力・判断



1 B施設実習

生活科学科「届けよう、服のチカラプロジェクト」



力・表現力を身に付けてきたと思います。実習の感想を坂本さんと杉山さんに聞いてみました。

—初めての实習はどうでしたか？

「習ったことが生かせる場面とまだ習っていない気付きがあり、とても学びがありました。あいさつの工夫、コミュニケーションの取り方など、今後の勉強に生かしていきたいです。(坂本さん)」

「教科書、先生、先輩から聞いたことが目の前にたくさんありました。勉強した成果をたくさん出すことができました。コミュニケーションを中心に人として成長する実感が持つことができ、自信につながりました。(杉山)」

Bルームのみなさん、この経験を次につなげていきましょう。学ぶ意欲がますます増すといいね！

生活科学科も先週から今週にかけてユニクロとUNHCRが実施する国際支援活動「届けよう服のチカラプロジェクト」に参加しました。生徒が主体となって、校内や地域で着なくなった子ども服を回収した後、難民などの服を必要とする人々に届けられるというプロジェクトです。保育園に回収にいった安西さん、井上さんに感想を聞いてみました。

—プロジェクトに参加してみてどうでしたか？

「運ぶのがとても大変でしたが、子どもたちも洋服も可愛くてとても達成感がありました。」

ご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。引き続き17日(月)までお待ちしています。